



熊野古道博士 吉田さんの説明にカンゲキ

自然とのふれあいを求めて山に登る女性たち、“山ガール”が最近、熊野古道でよく見られるという情報を得たスタッフは、急ぎ馬越峠へ…



石畳を踏みしめて

馬越峠登り口に到着すると、楽しそうにおしゃべりしながら歩く3人をすぐに発見!!

名古屋から来た吉野利那さん、稲葉友希さん、後藤由香里さんの会社の同僚3人組は、なかに南アルプスに登った人もいる正真正銘の山ガール。山歩きファッションは、オシャレにキメるけれど、歩き慣れた靴と背負いやすいリュックで、両手が自由になるのが必須だそうです。

本日は、大ベテランの語り部・古道博士の吉田金好さんと一緒に古道歩きです。吉田さんがする草花の説明に、3人とも目を輝かせて興味津々の様子。強い殺菌作用を持ち、お寿司などの下に敷くハナミョウガの強烈な臭いを嗅いで、鼻を押さえながらも大感動!!

—みなさん実際に熊野古道を歩いてみていかがでしたか?

—(稲葉) 石畳はゴツゴツしていて、自然の造形を感じる「登りがいい」道でした。

(後藤) いつもはビルの中で仕事をしているので、こういうところで心も体も浄化することが大事だなと思いました。

(吉野) 木陰が本当に涼しいんだという、当たり前だけど忘れてしまっていることが体感できました。滑らないよ

う気をつけて歩くのがまた楽しかった。

みなさん感受性が豊かで、道を歩くだけではなく、植物や小川のせせらぎ、石畳の質感まで、自然とつながることを五感で楽しんでいる様子がとても印象的でした。

感想は三者三様の表現でしたが、語り部さんへの感謝の気持ちと、最後の質問には意見がピッタリ一致!!

—次に東紀州に来るとしたらどんなところに行きたいですか? —今回思ったよりも大変だったけど、鍛えて次はもっとキツイ峠にチャレンジしたいです。

「次はもっと厳しい峠を」疲れていても和らいだステキな表情でそう言ってもらえるのも、熊野古道と山の自然のおかげでしょうか。

若い女性にも熊野古道歩きが浸透するなど、表面的な入込み人数だけでは測れない、裾野の広がりを改めて感じました。熊野古道を体感した人たちが、その魅力を周囲や次世代へ、“道”のように永く伝え、つながってほしいと思います。





